

赤松良子さんのご功績を称えて

'24年2月7日、元文部大臣で、労働省局長時代に男女雇用機会均等法の制定を実現された赤松良子さんが亡くなりました。追悼の意を込めてご功績を称えてご紹介いたします。



赤松さんは、1929(昭和4)年大阪市天王寺区生まれ。大阪府立夕陽丘高等女学校(現：大阪府立夕陽丘高等学校)の卒業で、我が大阪の女性の先輩です。昭和初期はまだ職業婦人は少なく社会の評価もない中、同級生の母親が職業婦人として颯爽と通勤する姿にあこがれたそうです。

1953年に旧労働省に入省され婦人少年局に配属されます。1962年の大阪市立婦人会館開館の少し前ですね。

しかし、公務員の世界も男女平等には程遠く、転機を求めて国連フェロシップで渡米します。米国で女性がいきいきと働く姿にカルチャーショックを受け、女性の労働事情を研究し帰国します。

その後、1975年の国際女性年以降、女性差別撤廃に向けた国際的な潮流が高まる中、1979年に国連公使として女子差別撤廃条約採択の場に立ち会います。そして、1982年に労働省婦人少年局長に就任。「男女雇用機会均等法」策定のため、使用者と労働者双方の説得に粘り強く奔走し、1985年に均等法が成立しました。

局長になられた際には国際的な追い風もあり、法案作りのタイミングは今しかないと思ったそうです。まさに歴史的なタイミング！

法律制定時は、募集・採用や配置・昇進の男女差別是正は企業の努力義務だったので、ざる法などと批判もありました。しかしその後の改正を経て、女性たちが当たり前に取り組むことができる時代を創られたことに、変わりはありません。

さて、2024年2月9日には、日本弁護士連合会次期会長に淵上玲子さんが選出されたとのニュースもありました。弁護士、検事、裁判官の法曹三者で女性トップは初となります。

淵上さんは1983年に弁護士となられたそうです。キャリアを築き上げられた背景には均等法の存在もとても大きかったことでしょう。日弁連次期会長のご活躍を心から応援したいと思います。

一方で、日本は女性がトップになることがニュースになるぐらいです。男女共同参画の課題はまだ多いです。市女性会は今年75周年を迎えられますね。誠におめでとうございます。我が先輩赤松さんのしなやかなパワーにならぬ、これからも真に女性が活躍できる社会の実現に向けて、共に取り組んでまいりましょう。

一般財団法人大阪男女いきいき財団
理事兼事務局次長 沢田 薫



地域で輝く女性会

令和5年度大阪市女性大会が開催されました

令和6年1月24日(水)クレオ大阪中央ホールで、令和5年度大阪市女性大会を開催しました。各単位から会員5名ずつが参加し、大阪市長様をはじめ多くの来賓のみなさまにもご臨席を賜り、お祝いの言葉や温かいメッセージをいただきました。また「大会決議」として、地域にお



ける女性の立場から、「学習」と「実践」活動に取り組み、男女共同

参画社会の実現に寄与していくこと、各区が広報活動に取り組み、2025年の大阪・関西万博へ向けて機運を高めていくことなどを確認しました。

第2部の演奏会「クラリネットとアンサンブルの魅力」では、クラリネットアンサンブルHanaさんをお招きし、クラシックや日本の歌、ジャズ、ポップスなど幅広いナンバーをクラリネットの素敵な音色で奏でいただきました。



市女性会結成75周年にあたって

戦後まもない昭和24(1949)年12月に結成された市女性会は、今年の12月に75周年を迎えます。これもひとえに、私どもの活動を支えていただきました関係各位の皆様方のご指導の賜物と深く感謝いたしますとともに、会の運営や日々の活動に取り組んでこられた歴代の役員、会員の皆様方に、厚くお礼申し上げます。本誌の中間に各区の活動報告を掲載しておりますので、日頃の活動の様子をあわせてご覧ください。

さて、2025年にはこの大阪の地で再び万国博覧会が開催されることになりました。1970年の大阪万博の折に、私どもの先輩である市婦協の女性たちが華やかに踊り、大阪万博を大いに盛り上げました。私たちも地域を支える女性団体の一員として、一般催事への参加申込みをおこなったところでございます。審査の結果がどうあれ、市民の一員として、区民まつりの機会

などを活用して、地域での盛り上げに尽力してまいります。

地域では高齢化や単身世帯化が進み、地域活動の担い手不足が常態化しております。市女性会においても、次代のリーダー育成が喫緊の課題でございます。75周年の今年は、各区の負担を軽減して持続的な運営を行いつつ、学習活動を基盤にリーダー育成に力を入れてまいりたいと思います。私たちを取り巻く状況がどのように変化しても、地域で学び、得た知識や経験を活かした地道な活動を続けながら、新しい活動を模索し、実践してまいりたい、その決意をあらたに、日々の活動に取り組んでまいります。

引き続き皆様のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪市地域女性団体協議会
会長 前田 葉子



令和6年3月23日に夕陽丘基金は20周年を迎えます

DV防止法ができて23年。被害者への支援は広がってきてはいるものの、DV相談窓口や警察に寄せられるDV相談件数は増加しています。

夕陽丘基金では、DVにより着の身着のまま緊急一時保護施設に入られたDV被害者の方へ、保護命令等の手続き費用、治療や診断書のための医療費、裁判所や病院への交通費などの貸付を行っています。平成16年に始まり令和5年3月末までの19年間で、のべ604件、6,704,172円の支援を行いました。

支援を続けることができているのも、女性会のみなさまをはじめ、募金にご協力いただく皆様のおかげです。

暴力被害をはじめとする女性の困窮は世界各地で深刻化しています。一人でも多くの被害者の方の新たなスタートにむけて支援を続けてまいります。

引き続き、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【ご支援・ご寄付のお願い】

みなさまからの暖かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます

ゆうちょ銀行振替口座
口座番号 00990-7-190552
口座名称 夕陽丘基金



各区の活動紹介

都島区

少人数の都島区は、毛糸のくさり編みのような温かな繋がりが強みです。活動の基本は学習。今年度は「さあ、終活適齢期です！」を年間テーマとした「女性学習会」や火災予防等を学んだ「くらしの学習会」「百歳体操」等、地域の方々にも声をかけて展開しました。地域活動の柱は区民まつりへの模擬店参加です。今年度は好評の「おもちゃ・くじ引き」を拡充。歓声と笑顔に心が満たされました。



中央区

令和5年度中央区男女きらめきのつどいは、ウクライナ支援チャリティーコンサートを実施いたしました。歌手カテリーナさんによるパンドウラを奏しながらの、もの悲しい美声に、120名あまりの観客は、心の中で一日も早い戦争の終結と、平和な日常に戻ることを願い涙しながら聞きいりました。皆さんの心のこもった復興支援の募金はウクライナ大使館に持参し祖国で頑張っておられる方々の、笑顔のために使用していただくようお渡しいたしました。



西区

当女性会は年間を通じて様々な行事や学習会に積極的な取り組みをしています。西区主催の体育と防災の集いでは会員達の踊りを、文化の集いではお茶席を開催しています。特に力を入れているのは区女性会主催の学習会です。今年は年を重ねても健康に頑張れるよう、区内のOCA専門学校eスポーツ科の協力を得て、認知症予防のプログラムを作成しました。eスポーツから学ぶなどとは思ってもよらなかったのですが、学習会終了後、委員たちが数歳若返ったように見えたのは嬉しいことでした。



福島区

令和5年度にコロナが第5類になり少しマスク使用が縮小となりました。そのため地域の行事も緩和され、地域も動き出しました。私にとってうれしかったのが、来賓として出席できたことです。特に運動会です。子ども達が笑顔いっぱい飛び走り、中にはこけたり…と思わず手をたたき、ガンバレ！と声をかけました。女性会として地域の行事に代表して参加することで華やかにできると思いました。



港区

令和5年度、第47回港区民まつりが10月8日、八幡屋公園にて開催。港区地域女性団体協議会として、踊りの部で出演をしました。新しい演目を「大阪元気音頭」と決定し練習を開始。悪戦苦闘をしましたが、皆さんの成功させようとの真剣な取り組みで、本番には万博のミックミック君の「うちわ」を背に、見事に踊りきることができ、本当に良かったです。



大正区

秋晴れの11月23日、大正区女性会9単位会はバス6台で伊勢への日帰り親睦旅行に出発しました。朝熊山頂では伊勢湾に浮かぶ島々を眺めての足湯を楽しんでいる会員さんを見かけました。人の多さと紅葉の美しい伊勢神宮を参拝し、昔ながらの街並みのおかげ横丁を、賑わいの中会員さんと散策し、お土産を買い楽しい旅でした。コロナ前の日常に戻り、人と人とのつながりを大事に活動を続けます。



天王寺区

五条、生魂、清堀の3単位の構成で「めざせ！心と体の健康」をテーマに①認知症サポート養成講座を受講し②「おいしく食べて元気なからだ」では運動機能低下を防ぐ必要な運動と栄養を学び③環境がひとに及ぼす影響について「さすがな京都」のゴミ処理見学と京都散策を取り入れた郊外学習を開催しました。単位個別の学習と並行して相互の交流やチャリティーコンサートなど地域活動に取り組みました。



淀川区

昨年コロナが5類となって活動範囲も広がり、学習会では「社協ってな〜に?」「台所発・環境保全対策」「介護の備え」など生活に身近な内容の取組をしました。参加者からは「講義の内容が良かった」との声をいただきました。また、初の取組として区民まつりで女性会ブースを設けバザーを開催しましたが大盛況でした。女性だからできる事がまだいろいろあると区・地域を通じて感じました。



東成区

1回目の行事として、1月の中旬くらいに理事懇親会を行っています。毎年干支に合わせ、神社へ初詣。40名の参加をいただき、京都市指定文化財の建築、干支の彫刻で有名な瀧尾神社、平安神宮の二社へ女性会の皆様の健康と無事を祈り参拝しました。最後に漬物の大安に立ち寄り、各自おみやげ物を購入。バスへ乗り込み大阪へ向けて帰途に就きます。前日から天気心配をしましたが、くもり空で時々お日様も顔を出し、京都にしては暖かい1日でした。ほっと胸をなでおろした心境です。東成区役所前5時頃に到着。皆様、おみやげを沢山持たれて家路へと向かわれました。



城東区

令和5年度、城東区は区制80周年を迎えました。私たち女性会も、心機一転頑張っています。「心豊かな人生、毎日を楽しく暮らす！」をテーマに学習活動を開始。①「人生会議始めてみませんか？」では、最後まで自分らしく生きるために、自らが希望する医療やケアを考えて描き留めておくことの大切さを知りました。②「調理実習と食育セミナー」久しぶりの実習で牛肉をおいしく調理、参加の皆さんは大満足でした。日頃からの食事のバランスも再認識し、健康で長生きするための食生活の大切さを感じました。③は「古布で作るスマホケース」を2月に実施しました。



鶴見区

今年度は、コロナ禍以前の体力をとり戻そうと「継続的に実践可能なストレッチ体操」を学習にとりいれ、また大災害に備えるの防災を主題にして、「防災と男女共同参画」「ローリングストック」「関西空港内消防署の見学」等に取り組みました。その様な中、正月に能登半島地震が起こりました。「地域防災・地域活動は先ず近隣の絆の強化から始まる」を軸とし学習を一層強化したいと考えています。(注)写真の化学消防車は日本で唯一関西空港にだけ配置されており、先端はドリル、夜間でも目立つ黄色の車体になっている。



阿倍野区

阿倍野区制80周年とあべのカーニバル50回目の節目の年、女性会もバザーを出店しました。区長に区の歴史等の講演をしていただき、阿倍野は弥生時代に始まり区名は昭和18年に住吉区から分区したこと等の学習をしました。郊外学習は京都竹林公園、京セラ本社で稲盛和夫資料館の見学。謙虚で仕事を愛し、人を愛する人となりの素晴らしい稲盛氏の話を聞かせていただきました。最後に各単位の学習発表会をしました。



住之江区

住之江区地域女性団体協議会は、地域と連携し、一年間を通して色々な行事に参加してきました。特に住之江区民まつりや住之江こどもまつり。また住之江アートビートでは、子どもたちと楽しめる千本引きと住之江区花であるさざんかをモチーフにした「さざびー風船」を一緒に作っています。最後に顔の部分を自分で書き、色々な表情のさざびー風船が出来上がります。今年、住之江区政50周年を迎えるにあたり、さらに地域、各種団体と協力して地域を盛り上げていきたいと思っております。

